

キャリア教育で子どもたちの未来づくり

大分都市広域圏小中学生交流事業



大分都市広域圏内(7市1町)の小中学生が、体験活動を通じて各市町の魅力を共有し、互いに交流することにより、連携を図り将来的な結びつきを強めることを目的に、交流事業が本年度よりスタートしました。10月7日、市から各中学校の1年生2名(計14名)が参加し、班別自己紹介やグループ対抗ゲームなどの活動を行った後、大分トリニータのホームゲームを観戦し、他市町の仲間と交流を深めました。また、京都サンガとの試合前には、日頃立ち入ることのできないフィールドに降りて、直前練習を間近で見学することができ、プロの素晴らしさを実感しました。閉会行事では、藤田菜々美さん(犬飼中学校)が感想発表と同時に来年度の「招待の言葉」を述べました。来年度は豊後大野市がホスト市となり、他市町の同年齢の仲間と交流を通して、関係性を深める予定です。(大分都市広域圏7市1町:大分市・別府市・臼杵市・津久見市・竹田市・豊後大野市・由布市・日出町)

最初は、知らない人と一緒に行くので不安でしたが、バスの中で市内の中学生と仲良くなって、一日楽しく過ごせました。班に分かれてからも、市外の中学生と活動し、充実した時間を過ごすことができました。試合は接戦でしたが、2対1でトリニータが勝ったので良かったです。試合後、ゴミ拾いのボランティアをしましたが、ゴミが少なくサポーターの人たちのマナーの良さが伝わってきました。今日は、たくさんの友達ができ、楽しい一日でした。[千歳中 宮成知]



大分広域圏小中学生交流大会を通じて学んだことは、知らない友だちと交流することの大切さです。僕は最初、不安な気持ちでした。知らない友だちと交流するのが苦手だからです。でも、大分の友だちが「こんにちは」と声をかけてくれ、世間話をしてくれてホッとしました。自分も積極的に話すことができて良かったです。トリニータのサポーターは多く、一生懸命応援しているのを見て、地元愛を感じました。この交流会はとても貴重な経験となりました。[清川中 和田洸太郎]

